

第40回通常総会を開催



通常総会

MDCは5月30日、組合会館において、県市関係指導団体のご臨席のなか第40回通常総会を開催しました。

木村仁副理事長の開会の挨拶の後、鈴木信晴理事長が演壇に立ち、「一昨年から取組んできたMDCビジョン策定は、ひとつくりとまちづくりの視点を当て、ヒューマンリソースセンターとしての方向を打ち出すことができた。この内容を実のあるものに、組合創立40周年を新たな出発点としたい」と主催者として挨拶を述べました。

この後、鈴木理事長が議長に選

任され、議事が進行しました。

第一号議案の平成27年度事業報告書、収支決算書および剰余金処分案承認の件は、手塚茂男専務理事の説明の後、渡邊龍司監事から監査結果の報告があり、異議なく承認されました。

第二号議案の平成28年度事業計画および収支予算決定の件以降第七号議案の取引金融機関決定の件まで全議案異議なく賛成可決しました。

昨年と変わった点は第三号議案で、組合創立40周年事業実施に伴い特別賦課金が10年ぶりに課されましたが、前回の一社一律10万円を2万円に引下げたこと（組合で積立金5百万円が確保できたため）と、組合の借入金最高限度額を10億円とした（長期借入金返済が進んだことと、転貸利用企業が減ったため）ことです。

また、27年度決算では事業収入は予算対比2.5%増、純利益は同24%増と順調な推移により、剰余金

処分として40周年積立金2百万円を積立てることができました。

昨年、3社が倒産するという大きなショックが走りましたが、期中のうちに2社が新たに進出することにより短期間のうちに問題解決ができましたことはご同慶の至りです。

27年度の事業を振り返ってみますと、長期借入金の返済や事務局人事の変化、施設老朽化など組合が抱える問題は、徐々に改善の方向へさらに一歩進みながら、今後の組合としての進むべき道を、国（全国中央会・労働局）や市大の助成金の支援を得ながら、新しいビジョンとしてMDCヒューマンリソースセンター（人的資源創造拠点づくり）に邁進しながら、対外的にはアウトレットセールにおいて地域との結びつきを強化しつつ新業態に対応した流通商社街として進化を遂げつつある過程と捉えることができます。

こうした組合の取組みや構成企業が持つポテンシャルとどのよう

に結合して変化対応業としてのさらなるイノベーションを生み出すことができるかが今後の課題であると考えます。

そうした意味で組合創立40周年はそのイノベーションの始まりと位置づける重要な年です。

組合員各位の熱意とまとまりのなかでさらに魅力ある商社街に脱



懇親パーティ

皮を図ることが今後の課題です。

総会来賓には、金沢区役所から國原章弘金沢区長、横浜市経済局の椎葉秀幸商業振興課長、前経済局長の公益財団法人横浜企業経営支援財団（IDEC）牧野孝一理事長、公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）佐藤伸一事業部長、全国卸商業団地協同組合連合会（商団連）栗原真専務理事、株式会社商工組合中央金庫の木戸口昌己横浜支店長が参列されご祝辞をいただきました。

総会の最後は、森田副理事長が来賓への謝辞と今後の決意を述べ閉会の挨拶としました。

第二部の懇親パーティは、神奈川県中小企業団体中央会の稲葉雅彦事務局長の乾杯の発声で始まり、来賓と組合員企業との交流の場となり、終始なごやかな雰囲気のか歓談が繰り広げられ、盛会のうちに幕を閉じました。

有限会社 タキオ・アートスタジオ

瀧尾昌宏社長に聞く

——業務内容を教えてください。

瀧尾 上大岡に本社があり、各種のイベントや展示会、舞台美術看板等の制作・設営という特殊な業務を行っています。

——これまでどのようなイベントを手がけられたのですか。

瀧尾 横浜で開催された国際会議「APEC」や「開港記念バザー」、赤レンガ倉庫で行われるビールの祭典「オクトーバーフェスト」はよく知られているでしょう。日常的には、ジョイナスさんやユニクロさんのバザールやセールのディスプレイ、さらには地元のお祭りの飾りつけまで、大道具的なセッティングなら何でもいたします。

——従業員がたくさん要るのでは？

瀧尾 現在、全部で11人です。

——それで看板の制作を？

瀧尾 大きな印刷機を持っていて、まして、オペレーターがそれで看板やカットティングシートを作ります。

——どういう経緯で業域を広げたのですか。

瀧尾 父が看板描き職人で、映画館の看板絵などを得意としていました。その父が平成4年に

創業し、フルカラー印刷の看板制作を軸に手を広げていきました。

平成24年に私が社長に就任し、本年4月からこちらに幸浦スタジオを開設しました。

——幸浦の使い方は？

瀧尾 木工系の作業場として使うつもりです。

——経営理念は？

瀧尾 「人材を大切に企業」にしたいと常に努めています。この業界は定時ということが少なく、深夜作業や土日の作業も避けられません。そういう困難な環境にどう報いてあげられるか、それをいつも考えています。



——将来ビジョンは？

瀧尾 従業員をいかに育てるか、それにつきます。男女を問わず「育児休暇」を取れる会社になることです。

——MDCの印象は？

瀧尾 交流の場があるということがまず素晴らしいと感じています。

——ご自身の趣味は？

瀧尾 昔サーフィン、今ゴルフでしょうか。

COCC(センター・オブ・コミュニティ)推進事業進む

平成27年度事業で取りまとめた「MDCヒューマンリソースセンター」構想の具体化を推進する目的で設置されたCOCC事業推進委員会（委員長 鴨志田晃教授）は、横浜市長が文科省の補助受け、地域振興の拠点づくりのための一環として当組合を対象にした「地域卸売業の活性化」をテーマとする事業推進の委員会です。

そのめざすところは、経営環境の激変や教育・人材確保等で厳しい状況に直面している地域卸売業の事業継続・発展を図るため、大学が関わることによって、今後の卸売業を担い得る人材を育成し、多様な外部の専門人材ネットワークや採用支援機能を併せ持つセンターの具体化に取り組むことです。

こうした前提のもと、5月26日のCOCC事業推進委員会では、次の4点について検討を行いました。

①専門家ネットワークの役割と構成
まず、専門家の候補を挙げる上で、企業にどのようなニーズがあるのかということとこれまでMDCとして顧問契約等の法務、財務などの専門家を含めたネットワークを形成していく。

それを分野別に区分すると、a 経営・業務革新（マーケティング・販促等）、b 人材、c 流通、

d まちづくり、e 事業承継、に分かれた専門家を20名前後の候補者人選が進んでいる状況で経過報告がありました。

委員からはこのほかに希望する分野として、金融、フードサービスのジャンルが挙げられました。

②ES（従業員満足度）調査について

「ESなくしてCS（顧客満足度）なし」と言われるほどに、ESが重視されるようになってきていますが、今回委員企業を対象に調査を行い、実施結果を対象企業から発表するものです。

この調査の目的は、社内ESの現状把握とモチベーション（動機）向上への課題を発見することです。これまでの委員会での検討過程で、各社の人材に関する課題は「育成」にポイントがあり、現状をトピックが正しく把握することの重要性が指摘されています。

そこで、仕事の実践に関わる領域での満足度、さらに会社の環境・風土に関わる領域での満足度を調査機関が直接個人からのアンケート回答を匿名で回収する方法で行うこととなりました。

③トップセミナーの開催

事前に行ったセミナーに関するアンケートでは、実務知識習得、問題意識・ヒント・触発に対する

関心や中長期での社会の変化と経営戦略への要望を踏まえて、「中小企業のためのやさしい事業戦略」と題して㈱三菱総合研究所の北田貴義氏を講師として、情報通信の進化とビジネスの変化などを切り口に中小企業における人材育成への利用に至る情報と経営の講演を7月のMDC社長会にて組合設定することとなりました。

④金沢区「地元企業対象の若手人材確保・定着セミナー」について

金沢区では関東学院大学、横浜市大と連携し、これまで「地元企業への人材の提供」を推進するため学生が地元企業を訪問してパンフレットで紹介する「地元企業の魅力発信」プロジェクト、大学就職支援担当者の金沢産業団地見学会、地元企業と大学生による交流会（クロス・ミーティング）を行い、それぞれ交流の成果を上げて、学生においての地元企業に対する注目度が変わってきています。

そこで、今年は企業が採用するための実務面での研修セミナーを企画し、経営者・人事責任者を対象に「新人の受入から定着」募集方法「面接手法」合同説明会の事前準備「大学での合同説明会」までのコースになっており、2年後に採用を考えている企業には最適なプログラムです。10月～3月期間月1回程度行うセミナーです。募集は7月予定です。



3月定例理事会報告

- 開催日時 3月9日(水)14時
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席理事 9名(4名欠席)
- 提出議案
- 第一号議案 C O C事業推進について
- 第二号議案 排水(汚水)管詰り事故の報告について
- 第三号議案 転貸融資実行報告
- 第四号議案 合同入社式・研修会の開催の件
- 第五号議案 各種セミナー開催の件
- 第六号議案 総会までのスケジュールの件

4月定例理事会報告

- 開催日時 4月13日(水)13時半
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席理事 10名(2名欠席)
- 提出議案
- 第一号議案 平成28年度基本方針について
- 第二号議案 廃棄物焼却施設の福浦進出の件
- 第三号議案 転貸融資実行報告
- 第四号議案 C O C事業推進報告
- 第五号議案 その他報告事項

5月定例理事会報告

- 開催日時 5月10日(火)13時半
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席理事 8名(4名欠席)
- 提出議案
- 第一号議案 第40回通常総会提出議案の件
- 第二号議案 第40回通常総会開催召集の件
- 第三号議案 組合創立40周年事業について
- 第四号議案 その他報告事項

事業委員会

- 開催日時 4月22日(金)13時
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席委員数 7名
- 検討内容
- (1)平成27年度事業報告
- (2)平成28年度事業計画(案)の件
- (3)40周年事業推進について

団地活性化委員会

- 開催日時 4月22日(金)10時
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席委員数 6名
- 検討内容
- (1)平成27年度事業報告
- (2)平成28年度事業計画(案)の件
- (3)40周年事業推進について

総務委員会

1	新入社員合同入社式	6	三役三委員長会議
2	新入社員合同研修会(1日、4日)	9	幸浦二丁目自衛消防隊会議
5	経営革新研究会準備会	10	松本純政経セミナー
7	岩岡氏とOffice2013更新の件打合せ	10	定例理事会
8	下水管詰り(Fブロック)工事の件打合せ	11	金沢区役所、横浜市大・吉永准教授と求人打合せ
11	外部会計監査(～12日)	11	共用下水管詰り(Fブロック)に伴うファイバー調査
12	県中央会事務局長協会理事会	12	社会保険労務士・金盛氏と仕事塾開設について打合せ
13	社長会幹事会	12	英会話教室
13	三役三委員長会議	13	共同緑地植栽帯消毒作業実施
13	社長会定例会	13	渡辺商事(株)・故渡邊敏雄前会長お別れ会
13	定例理事会	16	COC事業推進委員会下打合せ
13	セミナー事後フォロー意見交換会	16	金沢消防署予防課と社長会講演の件打合せ
13	中堅営業・管理者養成セミナー・オリエンテーション	16	MDC青年部会
14	英会話教室	18	ロイヤルウィングと40周年記念行事の件打合せ
15	昭和建産横浜販売(株)と自動ドアの件打合せ	19	英会話教室
18	㈱野毛印刷社と40周年リーフレットの件打合せ	20	MDC社長会総会
20	中堅営業・管理者養成セミナー	20	組合員全体会議
21	総務委員会	24	ハローワークと味楽従業員採用の件打合せ
21	スリーエフとローソン提携の件打合せ	25	中堅営業・管理者養成セミナー
21	英会話教室	25	中小企業基盤機構と企業ニーズの件打合せ
21	生活改善プロジェクトミーティング	25	スリーエフと事業報告の件打合せ
22	団地活性化委員会	26	第4回COC事業推進委員会
22	事業委員会	26	横浜金沢観光協会総会
22	金沢火災予防協会理事会・総会	26	英会話教室
23	MDCアウトレットセール	27	県中央会総会
25	黒川市議員と廃棄物処理場の件打合せ	27	(協)横浜総合卸センター総会
25	社長会監査会	28	MDCアウトレットセール
25	アウトレット部会	30	MDC第40回通常総会
26	組合監査会	30	アウトレット部会
27	横浜市雇用労働課と打合せ	31	㈱横浜シーサイドライン取締役会
28	IDECとセミナー助成金等について打合せ		
28	英会話教室		

鈴木理事長、 横浜市長表彰を受章



6月17日、横浜市金沢産業振興センターで開催された横浜金沢産業連絡協議会(産連協)総会後に、行われた工業団体役員表彰において、当組合の鈴木信晴理事長が横浜市長表彰を受章されました。

中小企業高度化資金 0.5%に

昭和55年の当団地完成から、集団化事業においての設備投資資金は中小企業高度化資金と銀行の協調融資によって調達し、37年目に入りました。また、平成10～12年度にかけて県の補助を受け大規模なリニューアル工事を実施しましたが、それから16～18年が経過し、屋上防水、外壁塗装もそろそろ補修の時期を迎えています。

高度化資金は、設備資金として最長20年間で金利は毎年見直しされ、この5月時点の金利は0.5%に引き下げられました。(前年は0.75%)

但し、申込から借入実行まで診断や予算の確保などで3年は最低かかるので、施設老朽化を想定すると長期的な資金計画を立てて準備を始める頃合と思われます。

組合の会館や立体駐車場等も今後申請を検討していくにあたり、企業ニーズ調査にご協力ください。

組合会館1階北側出入口を 自動ドアに改修

会館北側出入口は、アウトレットセール時、ドアの開け放しで冷暖房が効かない難点がありました。それを改善するため、6月26日改修工事を行い、ドア枠を外し自動ドアに切り替えました。

お知らせ

MDCアウトレットセール開催

7月23日(土) 午前10時～

8月27日(土) 同

9月24日(土) 同

代表者変更

(株)大倉物産

(株)大倉物産は平成28年4月11日付で、宮崎正男氏の代表取締役会長就任に伴い、新代表取締役社長に宮崎文王氏(前専務取締役)が就任されました。

(株)RAS

(株)RASは平成28年6月22日付で、佐藤達夫氏の社長退任に伴い、新代表取締役社長に石崎淳一氏(日本リライアンス(株)代表取締役社長)が就任されました。

編集 後記

■世界的な潮流として人口の高齢化があげられます。世界保健統計(WHO発行)によると、日本人男性の平均寿命は80歳で世界8位ですが、女性に関しては87歳で断トツの世界一。しかしながら一方で、日本は世界一の「寝たきり大国」と言われているのをご存知でしょうか。

■日本人の平均寝たきり年数は、男性が9・2年、女性が12・7年。つまり、長寿国でありながら「健康寿命」は決して長くはないということ。健康で長生きしていることと「生存していること」は決してイコールではありません。

■この「健康寿命」をいかに伸ばせるかが、今後の日本における超高齢化社会においては喫緊の課題だと思っています。

■そのためのヒントは、食べ物だったり、サブリだったり、運動だったり、その他色々なところにあると思いますが、まずは人間が本来持っている免疫力や自然治癒力を高めることが最も大事だと思います。

■組合の2階にある家庭用管理医療機器「セラゼムマスターV3」、活用してみただけなら幸いです。

(総務委員長 桐岡俊樹)